



始



◎會 期
◎施設概要

昭和十一年三月二十五日ヨリ五月十三日マデ五十日間。
産業本館、軍需工業館、經濟更正館、參考館、國防館、觀光館、
郷土史館、教育館、美術館、福岡館、迎賓館、演藝館、滿洲館、
朝鮮館、臺灣館、土木建築館、久留米館、唐津館、日本製鐵館、
畜力利用農具實演場、野球場、兒童遊園地、休憩場、其他各種特
設館。

博多築港記念大博覽會案內 主催 福岡市

◎會 場
◎入場料金
◎團體割引

福岡市海岸埋立地七萬五千坪博多驛ヨリ電車二線アリ約十五分間
大人四十錢 小人二十錢 現役下士兵二十錢。
三十人以上一人三十五錢 百人以上一人三十二錢 二百人以上一
人三十錢。
小學兒童團體 三十人以上一人十五錢 六十人以上一人十三錢 百人以上
一人十錢。
學生々徒團體 三十人以上一人二十五錢 百人以上一人二十三錢。





◎會場 福岡市海岸埋立地七萬五千坪博多驛ヨリ電車二線アリ約十五分間

◎入場料金 大人四十錢 小人二十錢 現役下士兵二十錢。

◎團體割引 三十人以上一人三十五錢 百人以上一人三十二錢 二百人以上一人三十錢。

小學兒童團體 三十人以上一人十五錢 六十人以上一人十三錢 百人以上一人十錢。

學生々徒團體 三十人以上一人二十五錢 百人以上一人二十三錢。

福岡市案內圖





心中の街市岡福た見らか空



りとほの川珂那洲中西





官幣大社箱崎八幡宮



官幣大社香椎宮



福岡縣廳



福岡市廳

特254
467



美はしの都！

春、胎蕩の風和ごみ、花は紅、松は緑に、紺青の海は光る。秋、秀麗の山澄みて爽涼の英氣滿街に亘る。まことに深き自然の恵み、人の和樂、悠久こゝに千七百年餘、歴史は輝く西陲の都博多！詩の國夢の國の名に負ふ美はしの都博多！雄々しきその姿——なんとこれはいみじき博多禮讚の辭であらうぞ！その博多はいま人文開け進みて新鮮明朗な近代色の彩り濃く、西日本隨一の文化都市として躍進また躍進の一途を辿りつゝあるのだ。幾百年の間蓄積されて来た「筑前博多」の力「黒田五十二萬石」の力は、陰然として根強きものがあつた。鋭厚な文化の嵐はこれを揺り覺まし、怒濤逆卷く玄海灘の響音はこれを鼓舞した。元寇を撃破せる氣魄を以て時艱を突破した博多つ兒は遂に名實共に輝やかしい新時代の博多を建設することが出来たのである。昭和二年、東亞勸業博覽會を開催して以來、十年を闊した今日、その文化的の懸隔は實に甚だしいものがある。道路を見よ、橋を見よ、建築物を見よ、而して明るさを見よ、これが内容的に向上を示して来た何よりの證據である。此の十年間を貴き一階梯として更に今日以後の十年を待望せねばならぬ。博多築港の完成は即ち多彩多幸なる將來を約束する前奏曲であら



官幣中社大宰府神社



官幣小社住吉神社



縣社宮地嶽神社

ねばならぬのだ。大玄海の彼方、朝鮮滿洲は指顧の間にあり、支那、南洋の大市場もまた一瞬の近きにありて大福岡の觸手は限りなく伸張せざるを得ぬ。海の玄關築港の使命は多言を要せずして明らかに重大である。フレイ青春都市大福岡！一たび福岡の有りの儘なる姿に觸れた人々はさう叫びたくなるであらう。

躍進福岡の海の玄關と好一對なのは空の港雁ノ巢國際飛行場の完成である。四月一日より愈々華々しき活動を開始し、東京へ、鮮滿へ、臺灣へ、將來は上海へも銀翼を張つて東洋一の全機能を發揮するのも近いことであらう。かくて大福岡の繁榮もまさに東洋的とならざるを得ぬ。而してまた鐵道に船舶に四通八達の要衝に位して居る大福岡、空海陸の三大交通網は彌が上に文化の速度を高め來るであらうし何としても華やかなる將來を負荷された大福岡ではあるのだ。

懷古の情を手繰れば盡きぬ興趣が湧くのだがざつと沿革を見やう。曰く「天文永祿の頃數回の兵燹に逢ひ殆ど荒蕪の地となりしが、天正十五年豊臣秀吉更に市街を十町四方に定め再び繁榮の基礎を立てられ慶長五年黒田氏入國後努めて保護を厚くせられしを以て漸次發展せり」とあり、また「他の一部たる福岡

は往古福岡と云ひし海濱にして僅少の民家ありし所なりしに、黒田氏入國後、此の福岡を治城の好適地となし、城地並に城下市街を經營し福岡と命名せられ、世襲十二世二百七十年間の城下として著はる」とありて「博多」、「福岡」の大體の起源が判るであらう。明治二十二年市制施行によりて兩部を併せ福岡市と稱するに至つたのである。現在戸數五萬一千戸、人口約三十萬人、歳計豫算一千萬圓に達する殷盛振りである。

市街は颯々として帯の如く東西に延びて居る。北は名にし負ふ玄海灘の荒波をそつと抱き込んだ形の博多灣、その靜かな波が寄せては返しつゝ、市街の頭から爪先まで綺麗に洗ひ清めて居る、長い海岸線に沿ふて打立てられた文明都市である譯だ。而して西南は佐賀縣境の脊振連山を仰ぐ、春は遠霞の艶姿、冬は噀々たる白雪の嶺、佳趣また一入の眺望である。南東は筑紫野に展けて遠く筑後路より肥後に至るの要路を扼して居る。その筑紫野を流れて博多灣に注ぐ清流掬すべき川の名を那珂川と呼び市街地の中央に當りて流れ即ち博



博多驛



九州帝國大學文學部

九州帝國大學醫學部

多部、福岡部は此の川によりて區分されて居るのである。その東を博多部―銀行、會社、商店の大建築物櫛比してこゝに九州經濟界の心臟部を形成し。また歡樂の中心地をなし映畫館、劇場、料亭、旅館等建並ぶ。博多部の東に隣接しては綠濃き千代の松原東公園、九州帝國大學醫學部、法文學部、工學部、農學部等連なりて我國最高學府の權威を誇り世界の學界に陸離たる光彩を放つて居る。川の西福岡部には福岡縣廳、福岡市役所を始め、各官廳公共團體、教育關係、新聞社等の近代的大建物各々威容を示し、縣廳附近は福岡丸の内の稱さへありて雄縣行政の中樞首腦部である。

○ 潤達清明なる風土は豪放なる傑人、純情なる志士を生んだ。愛國勤王の高風と武骨稜々たる黒田武士の氣概は今に絶へぬ。勤王の首領加藤司書が詠める「すめら御國のものゝふはいかなることをか勉むべき、たゞ身に持てる眞心を君と親とにつくすまで」その至誠の情は福岡人士の汲み盡すべくもないところである。黒田家の臣母里太兵衛が名槍を飲み取つた歌「酒は飲み飲め飲むならば日の本一の

此の槍を飲み取るほどに飲むならばこれぞまことの黒田武士」今様に謡ふてその風韻を賞するのである。しかも、此の地は熱血男兒の地、神功皇后の三韓征伐に際しては福岡市を中心とした地方民の大活躍あり、元寇の襲來に當りては見事これを撃退し、降つて近くは勤王烈士の輩出あり、または海外貿易に萬丈の氣を吐ける博多三商傑の活躍ある等史實傳記の見るべきものなかくに多い。現代福岡の躍進的氣魄のあるのも決して譯のないことではない。

○ 旅人は花の晨名所を訪ね、遊覽地を巡るもよからう。タクシーを驅りて古跡を探るもよからう。市街の繁華に印象を深くするも更によからう。而しまた優婉雅趣に富む博多の情緒的一面を知ることも怠つてはならぬ筈だ。博多織、博多人形、博多絞等の特産商品については素より關心を持つて欲しい。若しそれ哀艶の歌調、綿々たる絃の音色に唄ふ博多節の一節を聞かうとならばそれは詩の國夢の國のお土産、立所に叶ふべき望みである。「歩む姿は柳腰」のみならず「宵は涙の絞りの浴衣、解けてうれしい博多帯」「秘めた思ひもすら

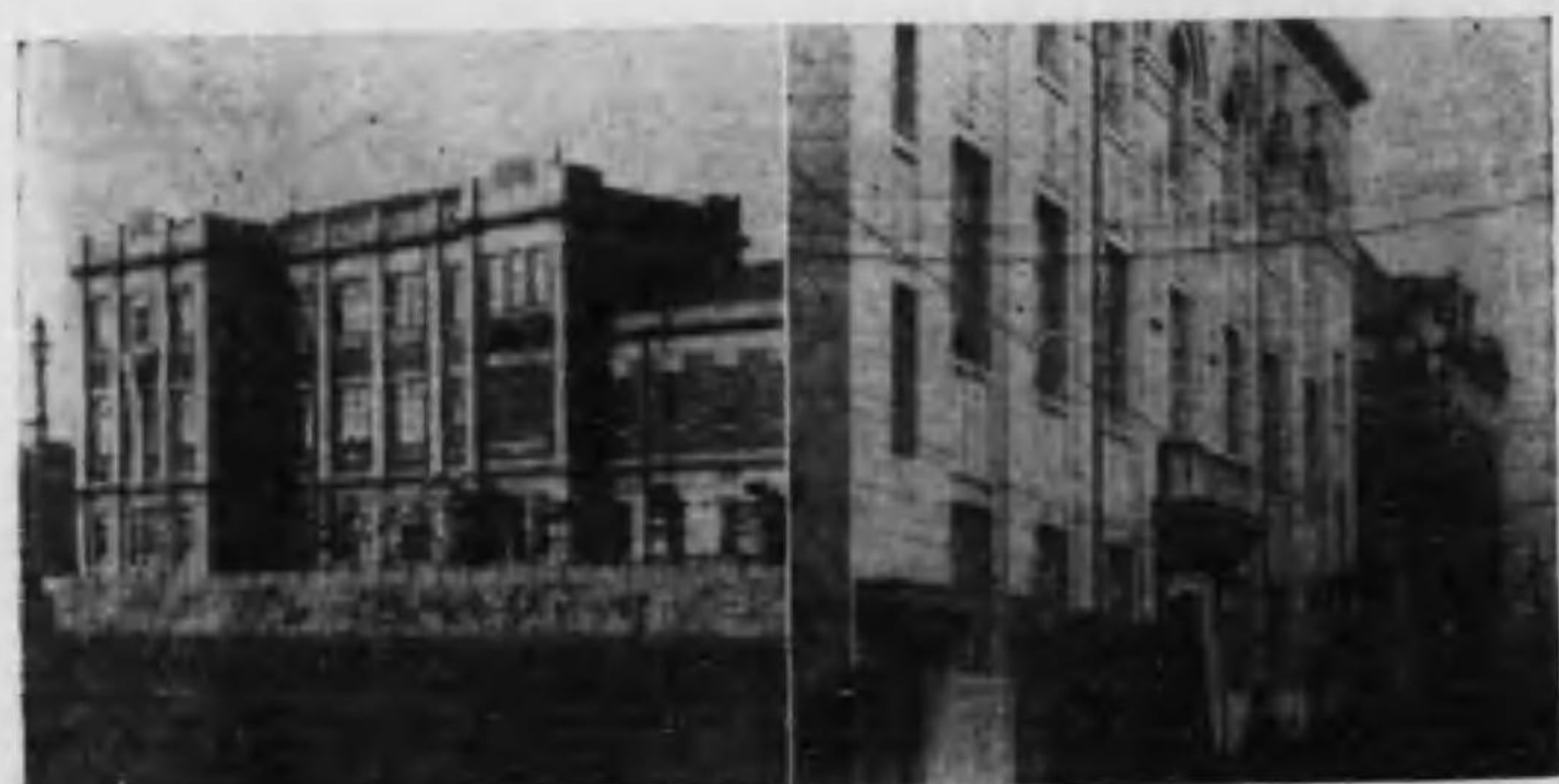
四



九州帝國大學農學部

九州帝國大學工學部

五



福岡縣產業獎勵館

博多商會所

く解けて、心筑紫の博多帯」「博多へ来るときや一人で来たが、歸りや人形と二人づれ」等々とても濃やかな福博の色と香である。歡樂境東中洲のネオンサイン、五彩にほめく灯の影にも旅人の心琴は高鳴るであらう。

その歡樂境の灯を映す那珂川の流れば觀光都市としての福博の生命である。灯を映し、絃歌を浮べ、月を宿す、新装した西大橋がモダンな姿を水鏡して橋上繁華の子もまた時にうつろ心にも月を眺め水に見入る程の風情があるのだ。此近附大いに現代化して自ら躍進福岡の代表地区となつた感がある。兎にも角にも古い歴史に新しい文化の晴衣を纏ふた福岡はいま激潮とした意氣に燃えつゝ多望な前途を目指して一直線に進むのだ。博多つゝ兒氣質は江戸つゝ兒肌だ。洒落恬淡。山笠を昇くわつしよゝゝの氣勢が新時代を生んで行くのだ。

博多は緑色！松と海と嫩草と。
博多は健康色！紅の花、波の花。
明るい街博多！であるのだ。

観光をちこむ

市内の遊覽觀光地は古い歴史の都だけに甚だ多い。名所、古蹟、神社、佛閣、公園等詳細に挙げれば優に大部の冊子をなすがこゝにはその大略を掲げて觀光客の参考に供したい。

◇西公園 福岡に足を留むるものは必ず此處に遊ぶ。「神さふる荒津の崎によする波まなくや妹に戀わたるらむ」と詠まれた荒津山、縣營にして日本の名公園である。四時の眺め佳絶。福博電車西公園にて下車、なだらかな坂道を登りて更に石階を登れば、舊藩主黒田孝高及長政を祠る光雲神社がある。玉垣の右廣場から福博全市を眺望し得る。廣莫たる築港博の會場、及舊時代の福岡港を眼下に見る。公園は羊腸たる道が鬱蒼たる樹間を縫ふて自由に延びて居る。奥の廣場に達して眺望を恣にすれば、天空快濶、漂渺たる玄海灘の彼方沖合には外國通ひの汽船が薄墨の煙を曳き、近く博多灣口には殘、志賀の二つの島を望む、志賀の島に連なりて九州橋立の誇りある海の中道は颯々として白砂青松の帯を投げ出して居る。灣上靜かなる波を通して東に屹立する立花、若杉の連山を仰ぐ、續いて三郡山筑紫山脈を望見する。更に白聖の建物、陽光に輝く薨、福博大市街を見下し、千代の松原東公園は濃き緑の一線を波打際に劃し、灣内には白帆點綴して眞に雄大な一幅の畫繪を見る如く、その景觀、風光美に感嘆久しうせざるを得ない。而して又西に眼を轉すれば白砂の濱の彼方には筑紫富士の秀麗、脊



簡易保險福岡支局



西公園

八
振の残雪、生の松原の翠緑、まことに爽氣襟に生ずるの思ひあらしめ、天下の絶景たるを叫ばしむるのである。その間元寇襲來の往時を語る史蹟も隠見して興趣を盡きざらしむるものがある。春は満山の櫻花眞に妍を競ひて老若男女群を作し、絃歌晝夜の別なく酒宴大いに盛んにして、雑踏極まりなし、福博名物の一として既に他縣に知られて居る。園内には長くも、兩陛下御手植の松、銀杏樹あり、高貴顯官屢々の御來遊もあつた。憂國十年尊皇討幕を唱へた平野國臣先生の銅像は凜乎として花の吹雪に濡れて立つ、忠勇義烈吉岡大佐の銅像、日清、日露の戦役記念碑等もある。附近には福岡師範學校がある。

◆大濠公園 西公園の一部とも見做すべき水の公園である。昔草香江の津と稱する入海、後には福岡城の西濠であつた。縣は之れを浚渫して近代的公園風に埋立て、橋を架し、道路を設けて立派な公園に仕立てた。

現在では樹木、芝生等落ち着きを見せ市民唯一の慰安行樂の場所となり夏はボートを浮べて遊ぶ者が多い。プール及運動場もあり敷地の隣には簡易保險福岡支局の堂々たる近代的建物あり、又福岡縣神職會の雅致に富んだ純日本造りの大建物、中央氣象臺福岡支臺もある。此の公園の敷地十萬坪に於て昭和二年東亞勸業博覽會を開催した。附近には福岡高等學校、女子師範學校がある。

◆元寇防壘址 市の西部西新町の海邊百道松原及糸島郡今津にある。文永年間元寇侵入の際博多を中心として海岸一帯に石壘を築き之を防禦し國難に當れる血涙史跡である。百道松原では毎年十月盛大な祭典を行ふ。かつて兩陛下の行啓、秩父宮殿下の台臨があつた。附近には中學修猷館、西南學院、社會教育會館、百道海水浴場がある。

◆菊池神社 元弘三年菊池寂阿が探題北條英時を鳥飼城に攻めて利あらず華々しき討死を遂げた遺跡、市の西南七隈村に在り、又近くの六本松には首塚がある。神社附近には福岡高等商業學校がある。

◆福岡城址 慶長五年黒田長政入國の翌年那珂郡福崎の地をトし城を築き七年を閉して工を終る、舞鶴城と稱し四圍濠深く要害を固むといふ。現在歩兵第二十四聯隊及び第十二師團司令部が置かれ、花見、月見の兩櫓は濱町



大濠公園

黒田侯別邸に移されてある。

◆鳥飼八幡宮 福岡西町に在り、縣社。神功皇后征韓凱旋の御砌宿らせ給ひし跡、維新當時藩士の尊崇厚く、多くの氏子がある。

◆紅葉八幡宮 縣社。西新町大平山上に在り、黒田光之寛文年間早良郡壹岐村より西新町百道に移し大正四年現今の地に移し奉る。應神天皇、神功皇后を奉祀す。山上の眺望絶佳である。

◆愛宕神社 姪濱海岸愛宕山上に在り。福岡電車、バスの便共にあり。天忍穗耳尊、伊弉諾尊を奉祀す。山上また眺望廣闊、ケーブルカーの設けありて参詣者絶へず。麓を流れる室見川は白魚の名所である。附近に姪濱炭坑がある。

◆貝原釜軒先生の墓 一代の哲人釜軒先生の墓及銅像は福岡西町金龍寺にある——辭世、來し方は一夜ばかりの心地して八十路あまりの夢を見しかな——附近の淨満寺には徂徠學の大家龜井南冥、昭陽先生の墓がある。

◆平野國臣先生誕生の地 福岡電車地行西町停留所附近に在る。

◆平尾山莊 幕末の女丈夫野村望東尼が隱退の所、維新の頃勤王志士高杉晋作等の隠れ家として有名、向陵會で遺跡保存をして居る。市の南方平尾山中に在る。毎年祭典を行ふ。

◆平尾淨水池 平尾山上に在り、福岡市上水道の淨水池、市街及博多灣の眺望頗る良く、春は櫻の名所となり遊山散策の人非常に賑合ひ西公園に匹敵せんとする勢ひである。

◆箱崎八幡宮 官幣大社、應神天皇を奉祀し玉依姫、神功皇后を配祀せらる。社殿は天文年中大内義隆の建立で樓門は文祿三年小早川隆景の建立にかゝるもので入母屋造り柿葺で桃山時代の代表的建築物、特別保護建造物である。延喜二十一年醍醐天皇「敵國降伏」の四字を親書して宮に納めらる。仰



東 公 園



宮 松 千早振る神代に植ゑし宮松の

松は久しきしるしなりけり

また「唐船塚」と呼ぶ足利時代の石塔もあり、其他由緒深い物語多くの寶物がある。先年臺灣阿里山の檜材を以て廻廊及び社務所の造營ありて一層の美麗、莊嚴さを加へ、神威彌々赫々たるものがある。晝夜の別なく遠近の参詣者絶へず、毎年正月三日勇壯なる玉競りの行事あ

武 徳 殿
ぎ見る樓門の勅額は 畏くも天皇の御宸筆にして千古の光輝を放つて居る。天皇皇后兩陛下、秩父宮殿下、各皇族方の御参拜あらせ給ひし處。神域には亭々たる老松翠をたゞへ、神鳩は松の間を飛翔してよく人に馴れ煎豆を啄む様繪を見る如き感がある。境内に玉垣を繞らす神木「宮松」がある。

り、九月十二日より大祭典執行、放生會の催ふしあり、海濱聖域に至る間の御潮井道には興行物連なりて非常な賑ひを呈する、つい近年までは氏子は家族總出にて松原に幔幕を張り廻らし盛んな酒宴を催ふしたものである。また毎年五月日本海々戦記念會を同海濱にて舉行、縣を擧げての盛儀である。市の東北部、福博電車箱崎にて下車、バスの便もある。省線箱崎驛に近い。

◇東公園 市の東部省線吉塚驛に近い。昔から有名な千代の松原、白砂青松の廣大な地區を擁する東公園である。西公園と共に必ず足を向くべき

處。整然として氣持がよい。園内には龜山上皇銅像、日蓮上人銅像ありて龜山銅像は一丈六尺、日蓮銅像は三丈五尺の巨像、共に松林の上遙かにそより立つて居る。立正安國論の一卷を手にして睥睨する大日蓮の前にはその遺徳を慕ひ集まるもの眞に晝夜の別なく常に香煙絶ゆることなく法鼓の音松籟に和して久遠の叫びを續けて居る。一帯は松樹參差し、風清く氣澄み春秋は市民運動場として活氣を呼び遊覽逍遙の客もまた多い。武道王國福岡に相應はしく近代の豪壯を誇る武徳殿は庭内に屹立して居る。元寇記念館もあり當時の遺物が保存されてある。



像銅人上連日

◇福岡市動植物園 東公園の一部に、今上陛下御大典記念として建設された市設の大動植物園である

昭和八年八月の開園。九州有数のもので猛獸、海獸、小禽、水禽珍鳥あり、また植物には百五十科目ありて四時參觀者で賑ふが春は特に園内に新設備を施すので一層の活況を示すであらう。

◇九州帝國大學 東公園地帯

に接近して市外箱崎町より北に多々良川に至る間、白砂青松の海岸線に沿ひ先づ醫學部あり、法文學部あり、工學部あり、農學部がある。各部共現代建築界の粹を蒐めて堂々四隣を睥睨する大建築を以て並んで居る。規模宏壯、學術の淵藪として西日本に冠たる最高學府であり世界の學界にその名を轟かし精彩奕々たる見したといふ武門のローマンスがある。有名な大銀杏と唐船を繋いだといふ船繋石がある。七月祇園祭に博多つ兒の意氣をあげる追山笠の行事がある。



門正國物植動市岡福念記典大御

「ものがある。各部共に年々面目を改め輪奐の美を加へつゝある。

◇櫛田神社 博多つ兒の氏神様である。博多社家町に在り、天照大神、素盞鳴命、大若子命三神を合祀、元弘三年、菊池寂阿入道武時が北條英時を博多に攻めた時、偶ま社前で馬進まず、ために大いに怒り「武士の上矢の鏑一筋に思ふ心は神ぞ知るらん」の歌を鏑矢に添へて神扉に射込んだので馬は忽ち進み後で大蛇が死んで居たことを發見後で大蛇が死んで居たことを發見後で大蛇が死んで居たことを發見

◇**住吉神社** 博多驛に近く、電車は住吉宮前に下車。官幣小社、筑前一の宮として宏壯を極め祭儀盛んであつたが中古漸く衰頹し屢々炎上した。我國住吉宮の本宮である。元和九年黒田長政公の再建によるのが現在の神殿である。特別保護建造物。境内の神木「一夜松」は奇瑞を現はし天聽に達したものである。

◇**誓固神社** 縣社、福岡部民の氏神である。藥院小島馬場に在り。

◇**水鏡天満宮** 縣廳前にあり、菅公左遷の折四十川に臨み姿を映して容姿の衰へたるを嘆せられしことに因み姿見天神とも稱せらる。

◇**神屋宗漢茶室** 天正二十年博多の豪商神屋宗漢が征韓途上の豊太閤を奈良屋町の私邸に請じて茶室を開いた。其の時の茶室である。天神町平岡氏邸内に現存し此程國寶に指定された。また同邸には同時代小早川隆景の築造にかゝる名島城門が保護されて居る。

◇**主なる寺院** △**聖福寺**(御供所町) 建久六年千光國師榮西の創建、後鳥羽帝の「扶桑殿初の禪宮」の親翰を賜ふた禪宗である。古文書が澤山にある。仙崖和尚、東嶺禪師はかつての住職であつた。塔頭の節信院には勤王の首領加藤司書墓、名僧仙崖の退休した幻住庵には博多三豪傑の一人大賀宗九、宗伯父子の墓がある。先般墓地改葬に當り三百餘年を経た宗九の貝詰にした大遺骸が発掘され人々を驚かした。△**承天寺**(上辻堂町) 仁治二年太宰少貳藤原頼資の創建、聖一國師圓爾を開山に請じた。國寶寺寶澤山にある。△**東長寺**(上小山町) 高僧空海弘法大師の開基、國寶に千手觀音立像があり、黒田忠之公の墓がある。△**樂福寺**(大學通り) 四條天皇仁治元年名僧湛慧の建立、後嵯峨院寛元元年西都法宮の勅額を賜ふ。初め太宰府にありしを黒田長政之を移したもので黒田家の菩提寺如水長政兩公の墳墓は此の寺内に在る。玄洋社の瑩城もある。△**萬行寺**(下祇園町) 西本願寺派の有名な大寺、天文十年山城の人七里準人蓮如上人に歸依し性空と號して創建したもの、先代七里恒順は名僧であつた。其他龍宮寺(上小山町淨土宗)、大

乗寺(大名町)、本光院(東堅粕町)、正覺寺(油山)、興徳寺(姪濱町)、惠光院(箱崎町)、善導寺(蓮池町)等がある。◇**米一丸の墓** 絶世の美人を妻に娶つたばかりに主人に欺かれ三池典太の名刀を探すため博多に来て、好物に計られ箱崎松原で自刃した木島長者の息米一丸恨みを残して異郷の土と化した。その墓は帝大農学部附近にある。博多の傳説中でも有名な哀憐な物語りである。

◇**濡衣塚** 聖武天皇の御代、博多に住んで居た筑前守佐野近代の後妻は先妻の娘當年十六歳の娘が悪らしくなり娘が近所から釣衣を盗んだと近代に告げた、近代は陰謀とは知らず怒つて娘を手討にした、翌年娘の亡霊が近代の枕邊に現はれ「濡衣袖よりつたふ涙こそ無き名をながすためしなりけれ」と歌を詠んだ、近代は自分の過ちを悟り出家して博多に七堂を建立して娘を弔ふた、娘を葬つたのが濡衣塚である。博多石堂橋の畔にある。

◇**子授け地藏** 石童地藏、苜蓿地藏ともいひ博多石堂橋畔に在り、石童丸に因んだ物語を秘めて居る。

◇**名媛明月の墓** 天正の頃花街柳町に明月と呼ぶ遊女が居た、萬行寺の正海上人に誨へを受け熱烈な信仰に入つたが不自由な身で參詣が出来ないので庭や妓樓の廊下を萬行寺までの足敷を踏み遙に禮拜した、二十二歳にして往生したが遺志によりて萬行寺に葬つた處數日の後土饅頭より一莖の蓮が生へ四十九日に花を開いた不思議な奇蹟に墓を掘つて見ると明月の舌端に根を持つて居たといふ、口蓮華と稱された。

◇**川上晋次郎の墓** 明治新劇界の鬼才例のオツペケで天下を風靡した川上晋次郎は博多對馬小路に生れた、民権論を主張して禁に會ひ政論を落語でやり書生芝居に轉じて苦心慘澹遂に新派劇の基礎を固めた。明治四十四年四十八歳で歿した。墓は承天寺にある。

◇**福岡放送局**(JOLK) 文化都市の名にそむかず學術、産業、宗教、演藝各方面に豊富な放送材料を有するだけ常に西日本ラヂオ界を賑はせ裨益せしめて居る。近く百キロ放送所の設備も實現せんとしつつある。因幡町に在り。

福岡市は近郊に非常に多くの名所舊蹟遊覽地を有して居る。しかも電車、乗合自動車四通八達の盛況にして意のままに足を向けることが出来る。

九鐵急行電車を利用して

九鐵急行電車は市内天神町を起點として久留米市を經

筑後津福に達して居る。新式快走車である。沿線はこれ筑紫平野、春は菜の花一面に美しく、山は霞み、川の流れるも清く實に車窓の眺めが心地よい。ゴルフリンクス、競馬場もある。

急行電車は△午前五時より七時まで十五分乃至二十分毎に發車、△午前九時三十分まで十分毎に發車(外に臨時發車)△午後九時まで十五分毎に發車(外に臨時發車)△午前零時三十分まで十五分乃至三十分毎に發車

連絡線は△久留米驛より省線久留米驛行バス△山鹿温泉、熊本行バス△船小屋鐵泉行バス△日田、杖立温泉行バス△花畑驛より福岡、甘木行支線電車△津福より若津、榎津行ガソリンカー

◇春日原運動場

臨あり。九鐵の經營にして常に優秀チームの試合を催ふし九州運動フアンの血を湧かためフレッシュなオゾン中にスポーツの醍醐味に浸り得る。敷地廣大、池あり松林あり風致も宜し、櫻の名所でもある。近年三州豊川稻荷の分靈を勸請して華麗な社殿あり參詣者多し、附近に大競馬場もある。

◇湯町温泉

二日市驛にて下車、バスの連絡あり、天拜山下の溫柔郷武藏温泉ともいふ。大丸館、延

壽館、筑紫館、海玉館、武藏屋等を初め大小旅館何れも内湯梯比し愛國婦人會福岡縣支部經營の傷病兵士保養所もあり四時共に賑合ふ。泉質は透明無色、硫化食塩泉でラヂウムを含み豊富である。省線二日市驛にもバスの連絡あり。

◇天拜山

湯町より武藏寺を経て山頂に達す、武藏寺は天智天皇の時代登羅磨といふ者靈夢に感じ椿樹にて薬師如来十二神將を刻みて本尊とし創建したといはれて居る、清閑な寺で「鶯のかき落したる椿哉」の芭蕉の句碑がある、奥に龍王の瀧といふのがある、菅公が天拜山に登られたとき此の瀧にて身を清め給ふたといふ此寺より四分餘にして天拜山頂に達するが頂



春日原大運動場

きには菅公を祀る小祠がある、延壽二年菅公が登られ皇天に祈願せられたと傳へられて居る。山頂に目標となつて居た松の大樹があつたが颱風で倒れた。眺望また勝れ仲秋の観月會には最客の登山多く常にも登山客甚だ多い。

◇太宰府神社

延喜三年二月二十五日太宰權帥菅原道真公は太宰府の南館、榎寺に薨去され御遺言によつて安樂寺に葬つたが同五年廟の上に祠を建てたのが太宰府神社―天満宮の起源である。本殿は天正十九年小早川隆景の建立にかゝり權現造りと神明流造りとを合せた檜皮葺で特別保護建造物で莊麗の極みである。歴朝崇敬を賜はり、明治二十八年官幣中社に昇格された。

文教の祖神として汎く全國民の崇敬するところである。

東風吹かば匂ひ起せよ梅の花

主なしとて春な忘れそ (菅家)

有名な菅公遺愛の飛梅は神殿の右前に千古の芳香を放ち、頗る廣大なる境内には老樹の梅幾千となく馥郁として妍を競ひ又鬱蒼たる樟の大樹がある。樹下に點在する茶店は名物梅ヶ枝餅を焼き呼物となつて居る。

梅飛社神府宰太



址樓府都

心字池には二つの反橋を設け四時絶ゆることなき參詣者は池の緋鯉眞鯉に歎を與へて興がる。壯麗なる寶物殿、菅公歴史館、文書館、特別保護建造物「志賀社」の祠がある。紅葉谷は楓にも若葉にもよい、三條實美以下五卿落の碑もあり、その滯留の舊屋もある。毎年一月七日鶯替と鬼すべの珍しい行事がある。急行電車は二日市驛より分れて鳥居前に至る。

◇**櫻寺** 菅公寓居の地、薨去のところ、今は淋しく松樹の間に小祠が残る。「天満宮の神幸がある。菅公が「宵の間は

都の空に澄みぬらん心つくしの有明の月」と詠ぜられしも、「去年今夜侍清涼」と嘆詠せられしも此處であるといふ。

◇**觀世音寺** 國寶の偉大なる佛像の數々が安置されてある。天智天皇が御母齋明天皇の菩提のために建立し給ふたもので菅公の「觀世音寺唯聽鐘聲」の句にある古鐘は今なほ古色蒼然として昔のまゝなる響きを傳へて居る。神社に近い。「秋の灯に照らし出す佛皆觀世音」虚子

◇**戒壇院** 觀世音寺に隣接して居る。日本三戒壇の一である。聖武天皇の勅願寺で往時の文化を育成した學業院の址もある。

◇**都府樓趾** 太宰府神社、觀世音寺に參詣したものは千年の昔蒸す都府樓趾(太宰府趾)を訪はねばならぬ。當時の鎮西大政廳の趾で草に埋れた礎石が點々として豪壯なしり昔の夢を包んで淋しく残つて居る。天智天皇を祀る小さな祠がある。兩陛下の行啓、宮殿下方の臨御も度々あつた。最近急行電車は附近に停留所を設けた。天智天皇の四年太宰府防備のため築かれた大野城の跡はその背後の山腹にある。

◇**水城趾** 天智天皇の三年筑紫に大堤を築きて水を貯へ名づけて水城と曰ふとあり、全長六百四十間、高さ六間、幅四十間の大堤で省線水城驛附近。なほ石童丸の傳説に名高い菟登の關と國分寺附近にあり、此の附近史蹟に富んで居る。

◇**寶瀟山** 太宰府神社の東北背部に屹立する海拔三千尺、奇巖絶壁雄偉な靈峰で、頂上には靈門神社を祀る。紅葉によく、日の出を拜するに頗る壯觀。福岡人は健脚を争ふて登るところである。

◇**水天宮** 久留米市筑後川畔に鎮座、久留米市は、久留米耕工場と日本足袋の大工場を持つて居る。

◇**太刀洗飛行第四大隊** 急行電車朝倉街道下車、こゝは甘木、秋月等への要路である。朝倉軌道、バスの連絡あり、

飛行隊は我國防空の第一線に活躍しつつあり。

◇第十八師團司令部 久留米市にあり、戦車隊等の特科隊を設けらる。靈峰高良山には高良神社の鎮座あり、筑紫二郎の流れは悠久幾千歳の神秘をたゞへ、頼山陽の筑後川を下るの詩によつて名高い。久留米市には肉弾三勇士の銅像がある。

博多灣鐵道急行電車を利用して

博多灣鐵道は市内東北部市内電車は、舊柳町、大學通りの中間停留所

南博多驛前下車、即ちその起點である。博多灣の波打際に沿ひ白砂青松の中を縫ふて走る。車窓の眺め頗る明媚、遠く玄海の洋上を望見し得て爽快である。「四百餘州を擧る」の歌によつて名高い多々良濱邊をよぎりて宮地に達するのである。途中西戸崎及宇美方面へ支線を伸ばして居る。夏季は海水浴客に賑合ふ。

◇名島 多々良川口の一半島で松の翠の丘である。名島驛より二町、こゝには小早川隆景の築いた名島城があつた。裏山辨天山には辨財天を祀る。博多灣の眺めを一時に收め夕陽殊に賞せらる。神功皇后三韓征伐の砌り用ゐられし船の櫓が化石したものと巷間に傳へらるゝ帆柱石は海岸にある。名高い岩見重太郎誕生の處。東邦電力株式會社の火力發電所、日本航空輸送株式會社の名島飛行場もある。

◇香椎宮 仲哀天皇、神功皇后を主神とし、應神天皇、住吉大神を併祀せらる。仲哀天皇熊襲征伐に西下せられ俄に崩じ給ふた時、天皇の御棺を椎の木に懸けられたのに異芳四方に薫じたので香椎の名ありといふ。仲哀天皇行宮の趾即ち大本營の趾及棺懸の椎あり。

千早振る香椎の宮の綾杉は神のみそきに立てるなりけり

(新古今集)

中門上り口の石段前に綾杉がある。神功皇后三韓征伐御凱旋の砌、軍旅に用ひ給ふた饗、餅、杖の三



宮地嶽神社

種を埋めその上に御手づから杉の枝をさゝせられたその枝が成長したものであると傳へらる。普通の杉の葉と異なるのも珍奇である。本殿は所謂香椎造り朱塗りの誠に神々しく特別保護建造物である。歴代朝廷の崇敬頗る厚くあらせ給ひ、また畏くも 今上天皇撤政宮にあらせ給ひ歐洲へ御旅遊ばされし時、御母陛下に於かせられては御親拜一路御平安を祈らせ給ふた深き御山緒があり神威赫々たるものがある。境内には老杉、老檜生ひ茂り實に静閑の裡に莊嚴味があり、日本四宗廟の一つである。附近には戦史の緋くべき舊蹟あり、古城趾等がある。

◇宮地嶽神社

御祭神は勝村大神藤高麿、息長足毘賣

命神功皇后、勝頼大神藤助麿の御三方を宮地嶽三柱大神と稱へ奉り狭依毘賣命、多紀理毘賣命、多紀郁毘賣命を奉祀するものである。開運勝利の神として世人の信仰厚く、縣社ではあるが參詣人の多きこと縣下隨一

といはれる。殊に正月七日間は全國よりの参詣者雲集するので名状し難い雑沓を呈する。神殿は最近新築され總て臺灣阿里山の檜材を用ひ莊嚴美麗を極めて居る。西に博多灣の風光を俯瞰し遠く日本海々戰を偲ぶ沖の島を望み更に筑前の山野を眺望し得る。境内は高燥閑雅、森嚴の氣に滿ち參籠殿は廣大なものである。全國信者の寄進夥しく且つ有名である。裏山には「岩屋不動」があり、日本海々戰記念館には東郷元帥初め陸海武將の揮毫、勝利品を陳列し參觀者多し。灣鐵電車宮地嶽終點下車(新博多驛宮地嶽驛往復電車賃七十六錢片道三十八錢)、省線は福岡驛下車。

◆東郷公園 宮地の西津屋崎町渡半島の中腹以上を開墾して東郷公園となし。日露戰役當時陸軍視所を置かれし頂上には日本海々戰記念塔が屹立して居る、記念塔の文字は東郷元帥の揮毫にかゝり一字四尺角、以てその高さも想像されやう、非常に東郷元帥を尊敬して居た津屋崎の篤行者安部正弘氏が揮身の力を捧げ幾歳月を費やして成就したものである。

◆雁ノ巣國際飛行場 電車を和臼驛に乗替て奈多に至れば擴大なる雁ノ巣國際飛行場がある。東洋一を誇る。四月一日より内臺連絡飛行を開始、使用機は唯一の國産新鋭機ダグラス。將來は滿鮮へ、上海へ國際航空路の第一線に活躍せんとするもの。

◆志賀島 志賀神社あり。殘の島は神功皇后三韓征伐の由緒あり、又玄海島は博多灣口にあり何れも風光絶佳、博多灣一周もまた宜し。

北九州鐵道を利用して

省線博多驛構内より佐賀縣唐津町に至る鐵道にしてガソリンカーを運轉しその沿線は水清く奇岩突出、大小の島嶼點在し玄海灘の碧波車窓に迫る、或は白砂青松、長汀曲浦のパノラマを展開して宛

然繪の國に遊ぶの感がある。怡土城趾、雷山、春振山、可也山、筑紫富士等がある。唐津まで一時間半強にて達す。

◆生の松原 市内姪の濱の西北より今宿村まで長さ十二町餘の松原、風光賞すべし。九大醫學部分室もある。

◆芥屋大門 糸島郡芥屋の海岸に在り、方形の石柱簇立して海中に突出し一大巖窟をなして居る。玄武岩より成る石柱整然として恰かも名工の削り成した如く洞窟は北に向つてトンネルをなし、海中深く百餘間程は小舟を入るゝがそれより曲れば次第に狭く遂に水濁水砂汀となつて居るともいふが暗黒で見極めもつかぬ、地方では龍宮とも呼び天下の奇觀である。

◆唐津市 北九州沿線の風光は實に變化に富み見飽かぬ眺めである。唐津に近く虹の松原あり豊公に因める松もあり、根上り松など一體に松の姿が面白い。唐津市は松浦湯として有名であり松浦小夜姫の傳説、春振山の傳説、近松門左衛門の墓もある。舞鶴公園は天下に名高く風光また絶佳、花にも眼合ふ。夏は海水浴場開設され上海方面から外人の遊客も多い。市内に架せられた長橋は特に名高い。

筑前參宮鐵道を利用して

省線吉塚驛より東に向つて去る。沿線には海軍燃料廠探炭所即ち海軍炭坑を初め所謂粕屋炭田として名あり大小幾多の炭坑がある。

◆篠栗新四國 參宮線篠栗驛より漸次山村に入り新四國八十八ヶ所の札所がある。花にもよく金剛杖をつき巡拜するもの四時絶えない。

◆宇美八幡宮 宇美町に鎮座あり應神天皇の御降誕遊ばされし靜寂の聖地がその境内である。安産の神様として婦人の参詣者が多い。八幡大神を奉齋し香椎大神、竈門大神、太祖大神、住吉大神の四柱の神を配祀する。境内に天然記念物に指定された大樟の靈木がある。

行
の
博
事



玉 競 り

◇玉競り 福博年中行事は正月三日箱崎宮社頭伏敵門下に於て行はるゝ玉競り(たませゝり)の神事を以て初めとす。

早朝繪馬殿で御玉洗ひ式がある、陰陽二類の寶珠(木玉)を清め、約二町を隔つる末社惠比須神社に供へ祭典を行ひ、直に陽珠は神職の手によつて社前に動搖めく眞つ裸の氏子の群の眞只中へ投ぜられる、清水に浮めた箱崎、馬田の若者は歡聲を擧げて我先にと競り合ひ奔めき奪ひ合ひつゝ、神前に近づくと、極寒も何のその、眞つ裸の群は冷水を浴びて水煙を擧げ、氣勢百倍して猛烈な肉弾相搏つゝの壯觀を呈し痛快淋漓たるものがある。玉は抜群の猛者によりて芽出度く神前に供され式を終りその年の幸福を祝ふといふ勇壯な神事である。

が六本立つ、据山笠といふ。山笠は毎年博多人形師の手になるもので勇ましい歴史的な作り物で趣巧を凝らし眩

◇祇園山笠 福博年中行事の花、毎年七月十五日櫛田神社で催される祇園祭の神事である。先づ博多の町々では年々交替で當番町が出来る、當番町には各々山笠が街幅いつばいにしかも高々と飾りつけられる、それ

追 山 笠



ゆきばかりの美麗さである。昔は十二本立つたものでその飾りつけのまゝ昇いで居たが近年は六本に減じ随分低くなつた。電話電燈線に妨げられるので當今では下の臺だけを昇ぎ廻ることになつて居る。祭禮は十一日から始まり十五日まで續くが十五日の未明六本の山笠は櫛田神社に集合し血氣盛りの博多若衆は各町揃ひの絆纏を着し脚絆草鞋の凛々しい姿で力繩を持ち手拭鉢巻でわつしよゝゝの掛聲勇ましく神社境内に順次昇ぎ込み太鼓の合圖につれ清道を一廻りして神社から一定の道順で博多市中を昇き決勝點に入るが道筋には水桶に滿々たる清水を汲み山笠昇の若衆群にざんぶ〜とぶっかけ勢ひをつける。その勇壯なること、眞に博多つ兒の氣概を示すものである、これを追山笠といふ、道筋には見物人雲集して非常な雑沓を呈するが、早朝行事が終るや直ちに美麗に飾られた据山笠を惜氣もなく取り壊してしまふ。薩つ張りし

据 山 笠

は見物人雲集して非常な雑沓を呈するが、早朝行事が終るや直ちに美麗に飾られた据山笠を惜氣もなく取り壊してしまふ。薩つ張りし

たものである、——いきて勇まし博多の祇園末も頼もし力繩——

踊手納奉の連妓藝



くたんど

鉦 傘

物人押し寄せ、大路小路身動きならぬ雑沓を呈する、これが博多の「どんたく」である。

◇松囃子

その起源は足利期だといふ、寛永の頃は毎年一月十五日藩公への年始の慶びに代へ行ふたといはれる。日露戦役後招魂祭當日四月卅日と五月一日に行ふことゝなつた。これまた博多獨特の行事である。當番町では恵比須大黒福祿壽の三福神の扮装をしたものを馬に乗せ傘鉦の行列もあり稚兒曳臺も押出して全市を練るが此の日各家では店頭には酒肴を供し、何人を問はず歡待する。一方博多四券番藝妓連を初め手踊、仁輪加、琵琶其他の演藝隊、千種萬態の假裝隊、太鼓、鉦、鼓を鳴らし、絃歌さんざめき、老若男女相混じて晝夜二日間をぶつ通し全市を歡樂の場垣に投ぜしめ、遠近よりの見



産名の博福

◇博多織

福博の名産を語るには先づ第一に博多織を挙げねばならぬ。「博多帯しめ筑前絞り歩む姿が柳腰」博多節には多く博多織を歌ひ込んである。福岡縣の重要物産、昭和九年の産額は三百一十一萬九千七百七十圓に上り、日本絹織物の重要品となり、博多人の美術的天才を誇つて居る。

その由来は遠い。滿田彌三左衛門といふ人は藝術的才能のあつた人で承天寺の開祖聖一國師圓爾に隨ひ、四條天皇の嘉禎元年宋の國に渡航した。六年の後織物、箔焼、朱焼、素焼麝香丸の五科を修得して歸つたがその隨一は織物であつた、それに獨自の工夫を加へ法器獨結と華皿とを圖案にして「獨結うけ織」「華うけ織」等を織出しこれを唐糸織、彌三織と稱した、爾來二百餘年織法は滿田家の家付となつたが其後織具その他を糸屋正右衛門に譲つた。かくて熱心な機業家彦三郎といふが彌三織に一大技巧を加へ、更に竹若右衛門といふが工夫發明を重ねて立派なものにした。伊右衛門の新作品は地質琥珀織に似て甚だ厚く模様は浮線柳條等があり、一際勝れた物珍らしい織物であつた、他國人はこれを「副家臺織」と言ひ賞讃した。即ち「博多織」の銘柄をつけた初めである。現在は同業組合を組織し普通手織であるが新式機械によりて生産し、福岡縣工業試験場では研究を怠らず年々新工夫を出して居る。屢々皇室にも献上し新國會議事堂の緞帳、壁にも使用せられ東京大阪方面でも非常に賞用されて居る。近年博多織ネクタイを多量に製産し年産百萬本、歐米諸國へも輸出する盛況である。

博多織同業組合は工業組合に改められ、理事長兒島紀七郎氏、副理事長林田友助、横大路國三郎兩氏専務理事後藤丑之助氏で織元三百戸、織機數百臺、手織機一千五百餘が職工達の織細な手で動いてゐる。現在の製産種目は、男冬帯、透織男帯、常磐帯、男夏帯、廣帯、女片側帯、透織女單帯、女單帯

袋織女帯、巻帯、小兒帯、兵兒帯、腰帯、帛紗、前掛地、袴地、着尺地、博多涼、肩掛地、肩裏地、卓子掛、袋地、袋掛紙入、クツシヨン地、ネクタイ其他で、博多みやげのナンバーワンである。

すつきりと筑前博多の帯をしめ忍び來し夜の白百合の花 白 秋

◇博多紋 天智天皇の筑紫行幸の時、女官の纏ふて居た縹模様から工夫案出したといふ古い傳説がある。博多界限の家庭的手工業として手絞りであつたが、漸次改良され、現今は特許絞縹模様を發明して絹絞り、麻布絞り等、高級品を製出して居る。染色には大いに意を用ゐ、共同染色場を設けて研究改良を施し、地質の堅牢と染色の確實を圖るため、正藍を使用し他の追隨を許さぬものがある。製品は紺絞、納戸絞、白地絞の各着尺地を初め風呂敷、ハンカチーフ、紅入手拭、日傘地など數種で博多絞株式會社は特に各絞店を叫合して鋭意地質の改良と製産能力の増加に努力して居る。

◇博多人形 博多を語るもの、第一に指摘するもので旅人の誰もがその艶麗な人形の姿に心を惹かれる慶長年間黒田長政が福岡城を築いた時、瓦職人正木宗七が瓦の土を以て作つた人形を藩主に献上したのが起源といはれて居る。一説には文化五年の頃、博多に中ノ子吉兵衛といふ者が伏見人形に擬して土人形を製作したのがその基礎であるとも稱されて居る。しかし徳川末期まではたゞ素焼の土人形に過ぎなかつた。明治初年初め



博多織を締めて (子重八谷水はルデモ)

て改良を加へ明治十四年内國勸業博覽會に出品し「博多人形」の名を附したものであるといふ。昭和八年の生産高四十五萬圓、製産戸數百八十戸、行先は内地はもとより鮮滿、歐米各國に及び輸出されて居る。

品種は歌舞伎人形、能人形、風俗人形、舞踊人形などに大別される。製作所は市内到る所にあるが何れも熱心に新しい研究を續けて居る。小島與一、原田嘉平、河原田平八郎などの諸氏は非凡の才能を發揮して人形製作界に重きをなして居る。

◇高取焼 文祿年中、黒田長政が朝鮮の役に從つて彼の地に陣した時、陣營の附近に陶工が住んで居た。その中に名工八山の妻子を後藤基次の臣桐山常右衛門に伴はしめ豊前國中津に送つた。長政福岡に封ぜられて慶長十九年鷹取城下内ヶ磯といふ處に陶窯を開き八山は姓を高取と改め八藏と呼ばれた。これが古高取といはれ高取焼の元祖といふことである。明治維新頃まで幾變遷、非常に衰微したこともあつた。現在市の西部西新町皿山一帯は確固とした高取焼の産地で茶人の愛玩に適する茶器、皿、火鉢など雅致賞すべき焼物である。近年龜井味樂氏は各種の花瓶を製造し華道専門家の賞讃を博して居る。

◇筑前琵琶 全国的に隆盛を極めて居る筑前琵琶の本場だけ製作所は市中に數十軒を算し年産額も莫大なるものである。



博多紋

博多人形

◆博多の銘酒 福岡縣酒造組合を組織し醸造試験所を設けて専ら品質の向上を圖つて居るが、市内に於ける銘酒の醸造所は十六、七軒、市外には約十軒を數ふる。全国的に名聲のあるのは粕屋郡宇美神社の近傍なる小林本店の萬代、筑後富安商店の富の壽、花の露、又醸造試験所では秋津洲といふのを醸造して居る。

◆博多の醤油 太田、奥村、三帆醤油など名あり、舊い歴史の街だけに醤油醸造家もそれ〴〵古き歴史を有して居る。現今品質の改良に力を盡して居る。

◆二〇加煎餅 酒落氣とユーモアに富む博多人が生んだ博多二〇加を主題にした煎餅、二〇加に使ふ半面を商標に賣出した東雲堂の二〇加煎餅は博多みやげになつてならぬものである。年中觀光客の絶え間なき博多で最も評判が高い。美味で市中到る處に販賣し驛でも呼賣して居る。カットはその商標である。

◆平助筆 河原田復古堂の製作である。豊公が征韓の役に當つて肥前名護屋に陣を進めた時博多の製筆業者河原田平次なる人筑紫の筆を獻じて賞され天明年間黒田齊隆公より河原田家に復古堂の稱號を賜ふた、畏くも 聖上陛下御愛馬吹雪、白雪の脱毛の御下賜を受け製筆してこれを献上の光榮にも浴した。宮内省を始め天下の文人墨客の間に知られて居る。

◆其の他の名産 味噌煎餅、みどり煎餅、鶏卵素麺、石堂飴、鶴の子、仙厓もなか、福お菓子、松のみどり、ぎすけ煮、水たき、罐詰等の外菓子食料品、農具、曲物、博多七疊、皿山土管、博多鋏等有名であり、それ〴〵傳統を有して居る。特に博多水たきは有名である。

舊柳町の新三浦は「博多小女郎浪枕」の傳説をもつ舊花街の跡で石堂川尻から博多灣の一部に亘り水の美しい處である。獨特の調理法を以てする鶏肉の水たきは博多名物の尤なるものである。



博多二〇加を持ち川上晋次郎を生んだ博多、早くから支那朝鮮方面との交通を頻繁にして居た博多には遊藝音曲などが盛んに發達した。殊に歌舞伎に對する觀賞眼、批評眼は高く鋭いものがある、初代團十郎の如きも此の土地には驚いて居た、それ程博多でうつつ芝居は眞面目なものだつたといふ。毎年東西大歌舞伎を迎へ、新派劇團、新劇團、色ものなど東西に名をなすもの此の地に來ないものはない、まことに華やかなものである。娯樂機關も完備し文化都市の特質を現はして居る。

◆劇場と寄席 その昔共樂舎、英樂舎、明治座ありて日本新演劇の創始者川上晋次郎を育て上げたが、現在では東中洲に九州劇場あり宏壯を誇り東町に大博劇場がある。博多の二大劇場で、松竹關係の興行は悉く大博劇場である。東公園に博多座、新柳町に柳座がある。寄席は東中洲の川丈だけで端物興行に獨壇上の氣力を見せ年中無休である。

◆映畫館 東中洲の映畫街はまことに華やかにして旺盛を極め六大映畫館は晝夜興行である。先づ壽座は日活封切場、友樂館は松竹封切場、辨天座は洋畫専門、世界館は日活、PCL、第一民衆俱樂部は大博映畫封切場、第二民衆俱樂部は新興第二封切場で何れも關西切つての新設備を有し魅力を投げて居る。此の外東部蓮池町に松竹第二封切場として帝國館あり、西部西公園下に大都映畫封切場として公園座がある。總じて八館が晝夜滿員の客を吸収しつゝあるは如何に映畫文化華やかなるかを物語るであらう。各館火華を散らして名篇大作上映に腐心競争をなすのも都會らしい風景である。

◆舞踊 近年流行歌記盛時代を現出したのに伴ふてか少女舞踊教授所が著るしく増加し、隨時舞踊會を開き技を練つて居るが日本舞踊では藤間流の藤間小伊勢師が永らく藏本町に教授所を開き、近年東中洲には若柳流の教授所があるま

た藤間流藤間勘秀事飯島綾子師が東京とかけ持で大學前に千鳥舞踊研究所を開いて居る、其他童謡舞踊を本郷とする教授所は数多い。

◆能樂 小鳥馬場磐固神社境内西公園能樂堂などが多く用ゐられ、家元名人を招聘して大演能會を開くこと屢々で市内には各流共有な教授所があり、仕舞共に甚だ隆盛を極めて居る。

◆琴、三絃 これまた盛んであるが、清元、長唄、常磐津、義太夫、尺八、洋樂等、何れ劣らず研鑽精進をなしつつあり、確固たる地盤實力を有して居る。華道、茶道、圍碁、將棋、更に撞球、麻雀に至るまで、日に月に盛んである。浪花節はまた興行組合もあり、遠近に名をなして居る。

◆博多二〇加 武士と町人との階級制度が嚴存した封建時代に惡政を罵り、武士の行狀を公然と批評し苛政を論難した博多民衆の聲を喜劇化したのがそも／＼の始まりで、博多方言丸出しの輕口を交換し滑稽諧謔を加へ奇想天外の筋の運びに觀衆に何物かを悟らしめ思はしめるのが趣意である。特別に衣裳などを用ゐるす有り合せの普斷着の着流しに半面とボテ鬘であつざりと扮装をして居るのが本來の精神であるが、近年歌舞伎や新派劇などの眞似事をして剽那的哄笑を賣つて満足する傾向があるが識者間には遺憾とされて居る。博多二〇加は最も濃厚に博多の色彩を持つたものである。

◆筑前琵琶 九州官僧の中興と稱される玄清法院(弘仁十四年入寂)がその開祖といはれて居る。明治初年頃官僧達は「般若心經」や「地鎮經」を琵琶に弾じ、荒神拂といひ各戸に彈奏して居たが其後端歌を語り「立田の紅葉」や「石童丸」等が唄はれ、明治二十六年頃福岡の今村外國氏によつて「扇的」の「谷村計介」等の新しい歴史的色彩を帯びた歌詞を作り彈奏させて好評を博し、次で橋智定、鶴崎賢定、吉田竹子等が起り、續いて高峰筑風、阿部旭州、秋根旭惠、豊田旭穂、高野旭嵐、高野旭方等の名手が現はれ全日本的となり旺盛な流行を極めたものである。本場だけに博多には師匠が多い、旭嵐、旭方兩師は尙盛んに後進を指導して居る。

繁華街とデパート

博多の繁華街は土居町、川端町、東中洲の各電車停留所を中心にして南北地區に展開して居る。東中洲からモダンな那珂川の西大橋を渡つて縣廳前まではちよつと杜切れてまた天神町に出れば一帯の繁華街をなして居る。博多部土居町電車通りには三井、第一、住友、十五、安田、三和、野村などの銀行が堂々たる巨體を並べ、その北側の大通りは掛町、麴屋町といひ、川端町から南北に流れた通りと丁字型をなして舊い博多の商店街だけに見つちりした氣分を持つて居るその中心には井上通り壽通といふ平面デパートがあり博多名所の一つとなつて居る。東中洲は何としても歡樂の中心地であり玉屋デパートの宏壯な建物があつて晝夜幾萬の客を吞吐し博多繁華の中樞をなして居る。福岡部の天神町は市内電車の交叉點であり久留米行急行電車の起點であり、近年著るしく股盛を極むるに至つた。北數丁にして松屋デパートの百貨殿堂があり、これ又晝に夜に幾萬の客を送迎してなかくの繁華振りを示して居る。東邦電力の大建築もあり、福岡市公設市場郵便局等もあり又近く竣工せんとする岩田屋デパートは天神町の一角に堂々たる偉容を示すべく、さすれば此の一帯は東中洲と相並んで大繁華街を形成する譯で商業福博の躍進思ふべしである。而してデパートこそ現代繁華街の中心であり代表的である、都市の優劣もまたデパートに基準を置いて差支へなからう。福博には現在三つのデパートが大繁昌を續けて居る、更に今秋一つを加へて四つの大デパートを有することになる、盛んなりといふべしではないか。四つのデパートを紹介して置かう。

九軌百貨店

大福岡陸の支關口博多驛前の廣場に大手を擴げて居る平面デパート「九軌百貨店」は北九州電力界の覇者九州電氣軌道株式會社直營にかゝるもので、見よい、買よい、平面デパートをモットーにして近年躍進に躍進を續けて居る。何しろ九軌直營だけあつて信用

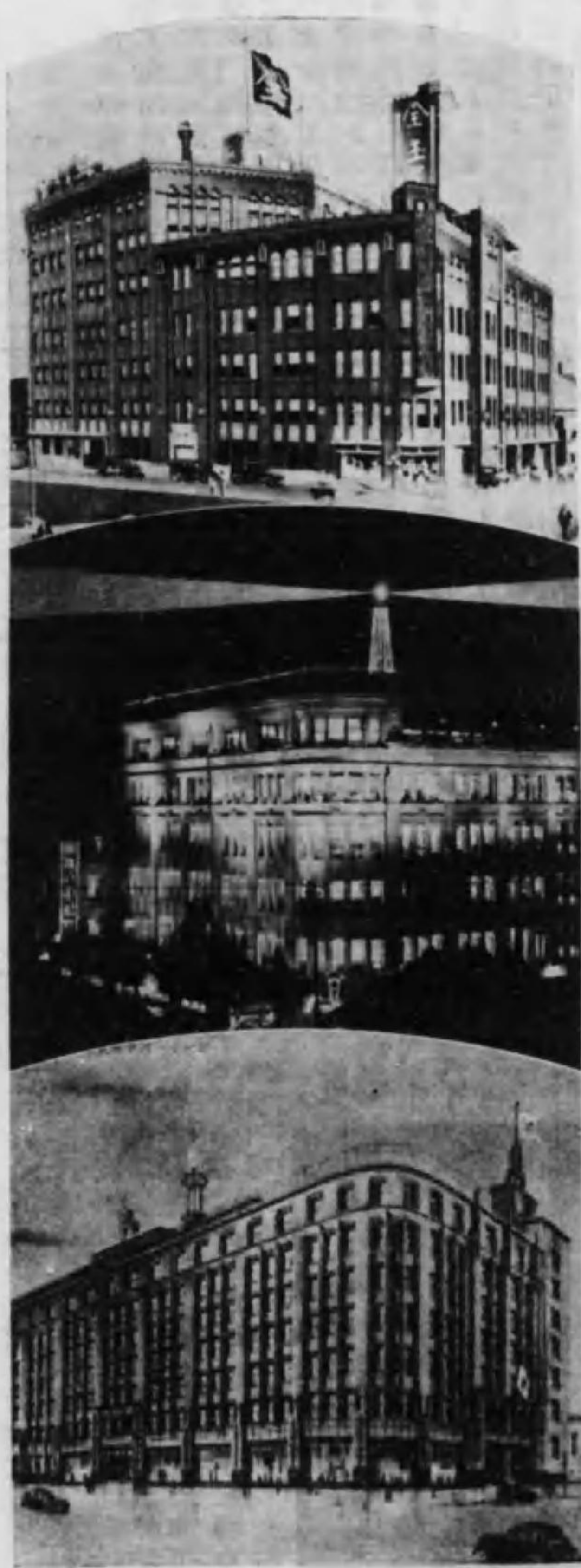


九軌百貨店夜景

確實、豊富なる商品、親切なサービス振りなど眞に消費者大衆側の立場に在つて、其便益と利益を計ることに懸命の努力を拂ひつゝある姿は同店の將來に於ける向上の一大發展を如實に物語つて居るものである、それと同時に博多駅前といふ絶好な位置を利用して云はず語らずの裡に着々と健實な地歩を築き市民へ旅行者へ深き印象を刻み込んで行きつゝある。夜の博多驛頭にまばゆきばかりのネオンの輝き、これが平面デパート九軌の麗やかな姿である。

玉屋デパート

東中洲の歡樂境を歴して屹立する八層樓の大デパート、大福岡の富力を表徴するかの如く、明るく泰然としたその巨體は遠近の顧客を吞吐すること日に幾萬を越すといふ、デパート全盛時代を謳歌して居る。これが西日本隨一を誇る躍進玉屋の雄姿である。市民はもとよりその信用と懇切とに惹かされて遠く他縣からの買物客が殺到し、年一年と外廓を擴張して行かねばならなくなつて來た、いよゝゝ裏側の買取地區へも増築着手の段取となつた模様である。その完成の曉は大福岡の面目を一新すべく各方面から大いに待望されて居る。



(上) 玉屋 (中) 松屋 (下) 岩田屋
全夜景 (中) 全夜景 (下) 全夜景

商品の豊富なるは勿論、ショップガールの爽やかな感觸、エレベーターの快適、全館内に亘つて明朗新鮮な気分が満ち溢れて流石は近代文化の粋を集めた大デパートの力量が窺はれ福岡市の誇りといはなければならぬ。八階からの展望は四界に開け、博多灣から粕屋、筑紫、糸島の山々、筑紫平野を一時の下に收めいふべからざる絶景である。博多に遊ぶもの「名所玉屋」に入らざるを耻とす——とまで申したい程である。

松屋デパート

福岡松屋通りの一角、博覽會場近くにその獨特な商法を發揮して天下の寵兒となつて居る松屋デパートは年と共に隆々たる業績を挙げこれ又關西切つての大デパートである。どつしりした白壁建は福岡部の偉觀である。此のデパートは現金大量最廉價仕入れを堅持し、しかも商品科學試験といふ稀に見る奉仕的の施設を斷行して名實共に良品廉賣を實行し日本デパート界に特異な存在を誇つて居る、眞に日進月歩の業運に掉して最近店内商品の充實と厳選に更らに一步を進め、一面販賣員のサービスの徹底化に邁進して居るが、博多築港記念博覽會を機会に福岡市其他各地の名産品特産品を悉く豊富に集中し内外滿飾を施し全く博覽會第二會場たるの觀を示すに至つた、殊に博覽會を機に食堂の大擴張を斷行し數百人を一時に迎ふべくテーブルの數を激増した。サロンは非常に明るく食卓に居ながら福岡の天地を一時に收め郊外山々の絶景、博多灣の眺め博覽會場を俯瞰するなど實に氣持のいゝ大サロンである。安くうまくをモットーにして居ること勿論である。かくして日に日に新鮮味を加へつつある松屋デパート、これまた福岡に遊ぶもの、見通してはならぬ「皆様の松屋」である。

岩田屋デパート

既に大デパート三つを有して居る福岡の天地に更にまた一大百貨殿堂を建設して堂々商業戦線に乗り出さうとする岩田屋デパートは目下天神町の一角に工事を急いで居る。完成は今秋の豫定だといふがその偉觀思ふべしである。岩田屋は現在呉服の岩田屋として博多麹屋町に呉服專業を營んで居る、博多に於ける最も老舗であり信用を博して居る健實主義の大商店である、時勢に順應して一躍大デパートの建設を斷行するのであるが時と處を得、しかも陣容鞏固であるからその繁榮は當然のことである。デパートの一部は九鐵急行電車の起點となり乗降客の待合所となるので一層の股盛振りを見せることであらう。これまた福岡の繁榮を刺激し文化向上に寄與する處多大であらう。



スは博多驛―東公園―箱崎八幡宮―香椎宮―名鳥飛行場―西公園―大濠公園―博多驛(周遊延哩數二十哩五分、所要時間二時間、料金(五人乗)一圓五十四錢)
 ◎第二コースは博多驛―東公園―箱崎八幡宮―香椎宮―名鳥飛行場―太宰府神社、博多驛(周遊延哩數四十二

▼遊覽コース

遊覽コースのコースは三区に分け。第一コースは博多驛―東公園―箱崎八幡宮―西公園―大濠公園―博多驛(周遊延哩數二十哩所要時間一時間、料金(五人乗)一圓五十四錢)
 ◎第二コースは博多驛―東公園―箱崎八幡宮―香椎宮―名鳥飛行場―太宰府神社、博多驛(周遊延哩數四十二

▼市内旅行

市内旅行の旅行は一部から四部までに分れ、一部に属する旅館の宿料は貳圓五拾錢から六圓まで、二部貳圓から參圓五拾錢まで、三部壹圓から貳圓まで、四部八拾錢か

市内旅行

市内旅行の旅行は一部から四部までに分れ、一部に属する旅館の宿料は貳圓五拾錢から六圓まで、二部貳圓から參圓五拾錢まで、三部壹圓から貳圓まで、四部八拾錢か

本町)、種田(千歳町二丁目)、高崎屋(片土居町)、高砂屋(上祇園町)、鶴丸(海岸通三丁目)、樂天閣(南新地)樂々(下名島町)、梅藤(海岸通三丁目)、うら島(鍛冶町)、櫛田屋(社家新川端町)、萬來館(古小路町)、松葉屋(大濱町三丁目)、小島(住吉明治町五丁目)、金八(矢倉門町)、喜久屋(西中洲)、眞藤(上土居町)、平野屋(天神町)、一二三屋(天神町)、晴心館(上新川端町)、清流館(住吉宮崎町)、壽喜屋(上土居町)、かき善(東中洲春吉橋際)、名倉ホテル(大名町)
 ◎三コースは博多驛―東公園―箱崎八幡宮―香椎宮―名鳥飛行場―太宰府神社、博多驛(周遊延哩數四十二

町)、榮日屋(住吉向島)、朝日旅館(住吉宮前)、朝日屋(地行東町)、旭屋(住吉二丁目)、堺屋(西町今川橋)、榮家(瓦町)、金波(東中洲八丁目)、三宅(上東町)、城島(下對馬小路)、白濱(矢倉門町)、日ノ出屋(新柳町大門通)、東帽子屋(萬行寺前町)、元屋(西住吉橋島居際、住吉館(住吉宮前)、住吉屋(住吉二丁目)、福屋(東中洲十丁目)、白木屋(矢倉門町)、近江屋(大名町)、川端旅館(上新川端町)(四部は省略)

花柳界

中洲券番 東中洲歡樂境の中心にあり。情艶な若手美人多く常磐津には松勇を總帥に光代、お千代、清元にはまさ、きよ、町子、菊香。長唄にはおひろ、多助、若代、おはん。踊には富貴子、梅勝、貞奴、松登美等。民謡上手な玉和歌等四百餘人、幫間には淀吉、淀平。附近待合にはまさおちか、みどり、巴、玉川、博榮館等。
 東券番 中洲の南部南新地にあり。常磐津には金次、里菊。清元には小

龍、今龍。踊に松次、其他金太郎、桃太郎、掛蝶、鶴葉等綺麗筋百五十餘人。幫間には文助。附近料亭は清流莊、いづみ等がある。
 水茶屋券番 明治五年から二十三年まで對岸下流の柳町と相對し娼家軒を並べ盛衰を極め、當時多くの志士が來往したところ、藝と意氣で賣り明治の末頃馬賊藝者と稱する豪傑藝者があつた。その名残のお婆さん、一二を。常磐津には龜子、律子、光江。清元には小今、萬龍。踊には福奴、おたね、かめ、靜江。踊には福奴の名コンビ。博多節の名手お秀さんあり。美人には蘭香、知子、君勇繁子、富士彌、おくぼ、ぼたん、きん等、幫間にはやなぎ、かなめ、堂々華やかなものである。附近料亭も一流が多い。一方亭、常磐館、橋本おきぬ、お園、中光等。
 相生券番 博多四券番の草分けとも稱すべき最も古き歴史を有して居る。博多港に近く商業街を控へて中洲、水茶屋方面とは自ら異つたお客氣分がある。釜屋町にあり、常磐津に歌津、小力、まさ、早月。清元に長江、友蝶、數子、一助、初駒。長

博多驛發汽車時刻表

Table of train departure times from Hakata Station. Columns include destination (e.g., 東京, 京都, 大塚), train type (e.g., 急行, 準急), departure time, and arrival time. A separate section for '北鐵博多驛發時刻表' (North Kyushu Railway Hakata Station Departure Schedule) is also included.

◆大演劇街 お手軽な遊び場、数奇な運命に弄ばれた淪落の女等が哀話情艶史を秘めて居る處、夜の花の咲く處。海岸方面で下鶴町、下洲崎...

◆カフェエーと繩のれん街 東中洲九州劇場を中心として電車通りを挟んで描き出さるゝ灯の街、戀の街、ネオンライトの影に媚笑嬌態盡くるなく...

昭和十一年三月二十日印刷 昭和十一年三月二十五日發行 定價 (金拾錢) 發行所 博多築港記念博覽會事務局

終

